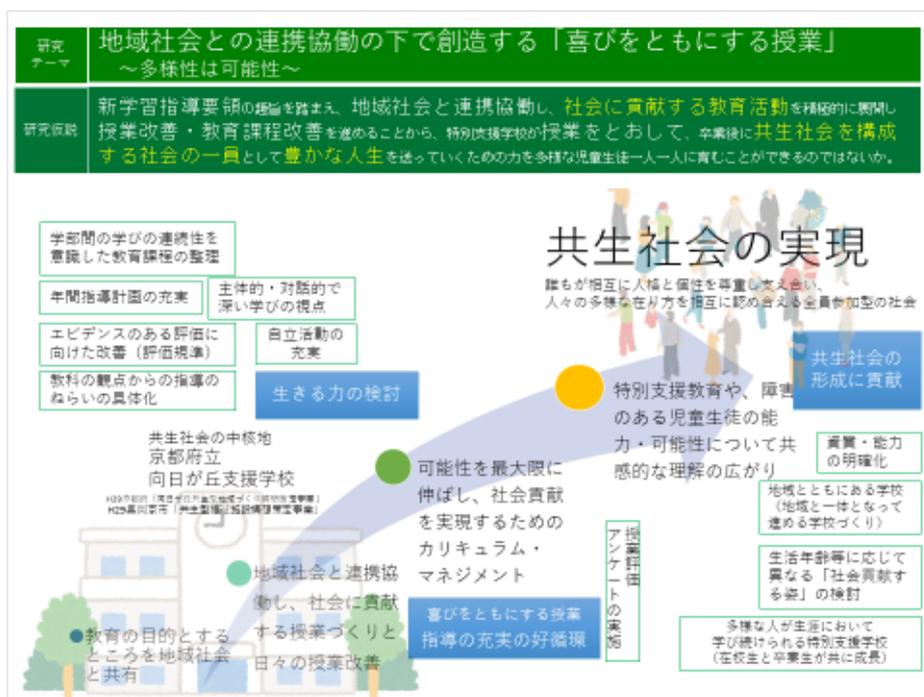


Ⅲ 実践紹介

1 実践紹介ページについて



研究テーマと仮説のもと、児童生徒の能力や可能性を最大限育成し、社会貢献※を実現するためのカリキュラム・マネジメント※に取り組んだ。

※カリキュラム・マネジメントとは、子どもたちの姿や地域の実情等を踏まえて、各学校が設定する教育目標を実現するために、学習指導要領等に基づきどのような教育課程を編成し、どのようにそれを実施・評価し改善していくのかということです。



※本校が整理した自分なりに「社会貢献」ということ

年間6回の全校研究会と連動した学部研究会において、4つのキーワード(喜びをともにする授業・自分なりに社会貢献する・多様性は可能性・主体的に幸せに生きるための力)に基づいて授業実践を検討してきた。

また、全学級統一して、「年間指導計画」「教科・領域等関連表」「授業改善シート」「児童生徒の変容エピソード」を作成した。

(1) 年間指導計画について

限られた時数を最大限有効活用し、教育効果を上げるために教科・領域等のつながりや年間の流れを見通した「年間指導計画」を作成、活用した。

(2) 教科・領域等関連表について

この表は、各単元や題材が、どの教科・領域等と関連があるかを示した表である。縦軸が単元や題材を示し、横軸が各教科の項目（観点）、領域の区分（項目）を示した。

この表によって、本校の教育課程の中心である「各教科等を合わせた指導」について、どの教科・領域等の項目と項目を合わせているかを一目で確認できるため、各教科の指導項目（内容）について偏りなくかつ重点的に取り扱う教育課程の編成や、各単元や題材等で各教科の指導項目（内容）が扱えたかどうかの評価の参考とすることができた。表右欄の「道徳」「自立活動」との関連については、次頁以降の資料（「特別の教科 道徳（道徳科）の内容項目の一覧」「自立活動の6区分27項目」）を参考に検討した。

熊本大学教育学部附属特別支援学校の「年間計画及び教科との関連表」（平成28年度）を参考に作成した。

(3) 授業改善シートについて

私達が授業改善に取り組むことから、多様な児童生徒一人一人に共生社会を構成する社会の一員として豊かな人生を送っていくための力を育むことができているということを確認するために作成、活用した。

前単元とのつながり、本単元でつけたい力を明確にし、単元設定理由により学習活動と学びとがしっかりとつながるようになった。

また、共生社会とのつながりを検討することで、将来を見据えてどのような力を身に付けてほしいか、そのためにこの単元でどのような力を付けさせたいかを整理した。そして単元終了時には、この単元で身に付いた力、次の単元に生かせる力として振り返ることとした。

学習評価は、新学習指導要領の基本方針を参考に、観点別評価の3観点に基づく評価規準による評価を取り入れた。

このシートは京都府立八幡支援学校の「授業改善シート」（平成28-29年度）を参考に作成した。

(4) 児童生徒の変容エピソード

「喜びをともにする授業～多様性は可能性～」のテーマで、授業における児童生徒のエピソードを記した。授業改善を繰り返すことで、児童生徒は変容し、新たな課題が明らかになった。授業改善を続けながら、児童生徒が自分なりに社会貢献することや、主体的に幸せに生きるための力を付けていくことを考えてきた。

このシートは保護者や地域社会の方に、特別支援学校ではどのような授業を実施しているのかをわかりやすく伝えられるものとして作成した。

「特別の教科 道徳(道徳科)」の内容項目の一覧

キーワード	小学校第1学年及び第2学年(19)	小学校第3学年及び第4学年(20)	小学校第5学年及び第6学年(22)	中学校(22)	キーワード
A 主として自分自身に関すること					
善悪の判断, 自律, 自由と責任	(1) よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行うこと。	(1) 正しいと判断したことは, 自信をもって行うこと。	(1) 自由を大切にし, 自律的に判断し, 責任のある行動をすること。	(1) 自律の精神を重んじ, 自主的に考え, 判断し, 誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	自主, 自律, 自由と責任
正直, 誠実	(2) うそをついたりごまかしをしたりしないで, 素直に伸び伸びと生活すること。	(2) 過ちは素直に改め, 正直に明るい心で生活すること。	(2) 誠実に, 明るい心で生活すること。		
節度, 節制	(3) 健康や安全に気を付け, 物や金銭を大切にし, 身の回りを整え, わがままをしないで, 規則正しい生活をする。	(3) 自分でできることは自分でやり, 安全に気を付け, よく考えて行動し, 節度のある生活をする。	(3) 安全に気を付けることや, 生活習慣の大切さについて理解し, 自分の生活を見直し, 節度を守り節制に心掛ける。	(2) 望ましい生活習慣を身に付け, 心身の健康の増進を図り, 節度を守り節制に心掛け, 安全で調和のある生活をする。	節度, 節制
個性の伸長	(4) 自分の特徴に気付くこと。	(4) 自分の特徴に気付く, 長所を伸ばすこと。	(4) 自分の特徴を知って, 短所を改め長所を伸ばすこと。	(3) 自己を見つめ, 自己の向上を図るとともに, 個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	向上心, 個性の伸長
希望と勇氣, 努力と強い意志	(5) 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	(5) 自分でやろうと決めた目標に向かって, 強い意志をもち, 粘り強くやり抜くこと。	(5) より高い目標を立て, 希望と勇氣をもち, 困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	(4) より高い目標を設定し, その達成を目指し, 希望と勇氣をもち, 困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる。	希望と勇氣, 克己と強い意志
真理の探究			(6) 真理を大切にし, 物事を探究しようとする心をもつこと。	(5) 真実を大切にし, 真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	真理の探究, 創造
B 主として人との関わりに関すること					
親切, 思いやり	(6) 身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。	(6) 相手のことを思いやり, 進んで親切にすること。	(7) 誰に対しても思いやりの心をもち, 相手の立場に立って親切にすること。	(6) 思いやりの心をもって人と接するとともに, 家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し, 進んでそれに応え, 人間愛の精神を深めること。	思いやり, 感謝
感謝	(7) 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	(7) 家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に, 尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。	(8) 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し, それに応えること。		
礼儀	(8) 気持ちのよい挨拶, 言葉遣い, 動作などに心掛けて, 明るく接すること。	(8) 礼儀の大切さを知り, 誰に対しても真心をもって接すること。	(9) 時と場をわきまえて, 礼儀正しく真心をもって接すること。	(7) 礼儀の意義を理解し, 時と場に応じた適切な言動をとること。	礼儀
友情, 信頼	(9) 友達と仲よくし, 助け合うこと。	(9) 友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと。	(10) 友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。	(8) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	友情, 信頼
相互理解, 寛容		(10) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 相手のことを理解し, 自分と異なる意見も大切にすること。	(11) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 謙虚な心をもち, 広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。	(9) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなもの見方や考え方があることを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと。	相互理解, 寛容
C 主として集団や社会との関わりに関すること					
規則の尊重	(10) 約束やきまりを守り, みんなが使う物を大切にすること。	(11) 約束や社会のきまりの意義を理解し, それらを守ること。	(12) 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り, 自他の権利を大切にし, 義務を果たすこと。	(10) 法やきまりの意義を理解し, それらを進んで守るとともに, そのよりよい在り方について考え, 自他の権利を大切にし, 義務を果たして, 規律ある安定した社会の実現に努めること。	遵法精神, 公徳心
公正, 公平, 社会正義	(11) 自分の好き嫌いでとらわれないで接すること。	(12) 誰に対しても分け隔てをせず, 公正, 公平な態度で接すること。	(13) 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく, 公正, 公平な態度で接し, 正義の実現に努めること。	(11) 正義と公正さを重んじ, 誰に対しても公平に接し, 差別や偏見のない社会の実現に努めること。	公正, 公平, 社会正義
勤労, 公共の精神	(12) 働くことのよさを知り, みんなのために働くこと。	(13) 働くことの大切さを知り, 進んでみんなのために働くこと。	(14) 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに, その意義を理解し, 公共のために役に立つことをすること。	(12) 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め, 公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	社会参画, 公共の精神
				(13) 勤労の尊さや意義を理解し, 将来の生き方について考えを深め, 勤労を通じて社会に貢献すること。	
家族愛, 家庭生活の充実	(13) 父母, 祖父母を敬愛し, 進んで家の手伝いなどをして, 家族の役に立つこと。	(14) 父母, 祖父母を敬愛し, 家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。	(15) 父母, 祖父母を敬愛し, 家族の幸せを求めて, 進んで役に立つことをすること。	(14) 父母, 祖父母を敬愛し, 家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	家族愛, 家庭生活の充実
よりよい学校生活, 集団生活の充実	(14) 先生を敬愛し, 学校の人々に親しんで, 学級や学校の生活を楽しくすること。	(15) 先生や学校の人々を敬愛し, みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。	(16) 先生や学校の人々を敬愛し, みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに, 様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	(15) 教師や学校の人々を敬愛し, 学級や学校の一員としての自覚をもち, 協力し合ってよりよい校風をつくるとともに, 様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	よりよい学校生活, 集団生活の充実
伝統や文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	(15) 我が国や郷土の文化と生活に親しみ, 愛着をもつこと。	(16) 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 国や郷土を愛する心をもつこと。	(17) 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 先人の努力を知り, 国や郷土を愛する心をもつこと。	(16) 郷土の伝統と文化を大切にし, 社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め, 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し, 進んで郷土の発展に努めること。	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度
				(17) 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに, 日本人としての自覚をもって国を愛し, 国家及び社会の形成者として, その発展に努めること。	
国際理解, 国際親善	(16) 他国の人々や文化に親しむこと。	(17) 他国の人々や文化に親しみ, 関心をもつこと。	(18) 他国の人々や文化について理解し, 日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。	(18) 世界の中の日本人としての自覚をもち, 他国を尊重し, 国際的視野に立って, 世界の平和と人類の発展に寄与すること。	国際理解, 国際貢献
D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること					
生命の尊さ	(17) 生きることのすばらしさを知り, 生命を大切にすること。	(18) 生命の尊さを知り, 生命あるものを大切にすること。	(19) 生命が多くての生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し, 生命を尊重すること。	(19) 生命の尊さについて, その連続性や有限性なども含めて理解し, かけがえのない生命を尊重すること。	生命の尊さ
自然愛護	(18) 身近な自然に親しみ, 動植物に優しい心で接すること。	(19) 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り, 自然や動植物を大切にすること。	(20) 自然の偉大さを知り, 自然環境を大切にすること。	(20) 自然の崇高さを知り, 自然環境を大切にすることの意義を理解し, 進んで自然の愛護に努めること。	自然愛護
感動, 畏敬の念	(19) 美しいものに触れ, すすがしい心をもつこと。	(20) 美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。	(21) 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。	(21) 美しいものや気高いものに感動する心をもち, 人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	感動, 畏敬の念
よりよく生きる喜び			(22) よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し, 人間として生きる喜びを感じる。	(22) 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し, 人間として生きることに喜びを見いだすこと。	よりよく生きる喜び

自立活動の6区分27項目

1 健康の保持	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事 (2) 病息の状態の理解と生活管理に関する事 (3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事 (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事 (5) 健康状態の維持改善に関する事
2 心理的な安定	<ul style="list-style-type: none"> (1) 情緒の安定に関する事 (2) 状況の理解と変化への対応に関する事 (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事
3 人間関係の形成	<ul style="list-style-type: none"> (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事 (2) 他者の意図や感情の理解に関する事 (3) 自己の理解と行動の調整に関する事 (4) 集団への参加の基礎に関する事
4 環境の把握	<ul style="list-style-type: none"> (1) 保有する感覚の活用に関する事 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事 (5) 認知の行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事
5 身体の動き	<ul style="list-style-type: none"> (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事 (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事 (4) 身体の移動能力に関する事 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事
6 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事 (2) 言語の受容と表出に関する事 (3) 言語の形成と活用に関する事 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事